

# 中島校区社会福祉協議会

活動場所：中島小学校及び中島校区（熊本市西区中島町）

活動期間：平成30年10月7日～平成30年12月17日

事業概要：社会福祉協議会と小学校と共同で、地域の高齢者の方々を元気にする。

## 復興元年プロジェクト 「希望の花を咲かせようin中島」

西区 中島校区

小学生と老人会の交流会が定期的に開かれるなど、子どもと高齢者の交流が盛んな中島校区。高齢化が進み、1人暮らしの世帯も多くなか、こうした交流が高齢者の活力になっているそうです。地震後も、住民同士が励まし合うことで、少しずつ笑顔を取り戻してきました。

2017年12月、中島小5、6年の児童が校区内の1人暮らしの高齢者宅を訪ね、学校で育てた花と全児童が書いた手紙を贈るプロジェクト「希望の花を咲かせようin中島」が開催されました。

同プロジェクトは、中島小と校区社会福祉協議会が企画。同会会長の上妻正勝さんは、「中島小や社会福祉協議会、民生委員の方々など、たくさんの地域住民の協力



「緊張したけれど、「ありがとう」と言ってもらえうれしかった」と話す児童



花と手紙を渡した後、しっかりと握手する様子

のおかげで実現することができました。地域が一丸となって前へ進んでいる象徴として、今後も続けていきたい」と力強く話します。

当日、児童が「心を込めて育てたお花です。日当たりのよい場所に置くと長く咲きますよ。これからも元気で過ごしてください」の言葉と共に、花と手紙を手渡すと、高齢者の方々は「あなたたちの元気な姿を見るのが何よりの葉。このお花は大切に育てます」と、大事そうに受け取っていました。「皆さんに喜んでもらって、とてもうれしかった」と微笑んだ井手優希君(5年)。

後日、地域の方々から小学校宛に電話や手紙でお礼の言葉が届き、絆がさらに深まったようです。

・小学生から高齢者の方への花苗のプレゼントは、高齢者がうれしいだけでなく、小学生に「登下校中、高齢者の方に会ったらきちんと挨拶をしよう」や「一人暮らしの方に他に何かできることはないか？」など思いやりの気持ちが生まれた。

・一人暮らし高齢者への花と手紙のプレゼントは、事前に高齢者の方へ訪問日時を教えていたので、嬉しくお菓子などを準備して待ち遠しく待っていた方もいた。

・地震後、地域の絆と支え合うまちづくりの大切さを実感していた。この事業を実施することで、小学生と地域の絆が深まり、お互いに思いやることで地域がお互いに支え合うまちづくりの強化につながった。